資料№12	総務文教常任委員会所管事務報告資料 令和８年 10 月５日【教育部社会教育課】

美術品（絵画作品）の寄贈について

１　寄贈申し出の経緯

本市出身の画家・中村哲泰氏より、令和８年７月13日付で「寄附申出書」が提出されました。中村氏は日本最大規模の公募展である日展にて入選を果たし、全道・全国規模の美術団体である新道展会員や一水会委員などを務められるなど、長きにわたり芸術活動を続けられています。特に、大自然の雄姿や山に対する畏敬の念を込めた「ヒマラヤ」シリーズや、身近な草花などの自然の生命力をテーマにした作品を数多く発表されています。地元恵庭における文化芸術活動の推進の一助となればとの思いから、この度、絵画作品53点の寄贈のお申し出に至っております。

２　中村氏略歴

⑴　略歴

中村　哲泰氏

恵庭市出身。農家に生まれ10代まで家業を手伝う。その後、森永乳業に就職。勤務のかたわら日曜画家の道を歩む。定年後ヒマラヤに行く機会を得て、２年の登山訓練後、2001年61歳でネパール側からヒマラヤに入る。絵の具が凍り付く寒さのなか、キャンバスを抱え一か月半の登山取材を行う。

⑵　主な受賞歴

・新道展会員　（1974（昭和49）年）
・一水会会員　（2015（平成27）年）
・日展入選　（1986（昭和61）年）
・石狩管内文化功労(文化賞)　（2008（平成20）年）
・一水会賞（一水会展最高賞）　（2015（平成27）年）
・恵庭市文化功労者（文化賞）　（2015（平成27）年）
・一水会委員　（2018（平成30）年）
・北海道文化団体協議会(分団協賞)　（2024（令和5）年）

⑶　主な寄贈作品



黄昏
（1976 年・日展入選）



灯台の見える風景
（1980 年・一水会 有島生馬奨励賞）



恵庭岳（2000 年代）



エベレストと氷河、そして氷河期
（2016 年・一水会 会員推挙）



とどまることのない生命
（2014 年・一水会 硲伊之助奨励賞）



とどまることのない生命
（2015 年・一水会 一水会賞）

３　作品寄贈式

本市に縁があり、本市を代表する画家であること、作品としての美術的価値が高いことなどから、寄附申出を受領することとし、
９月７日には作品寄贈式を執り行いました。



４　今後の予定

この度寄贈いただきました絵画作品53点を中心とした作品展覧会等の開催を予定しております。

・作品展覧会　　令和９年３月を予定